

平成30年

# 島根の

No3

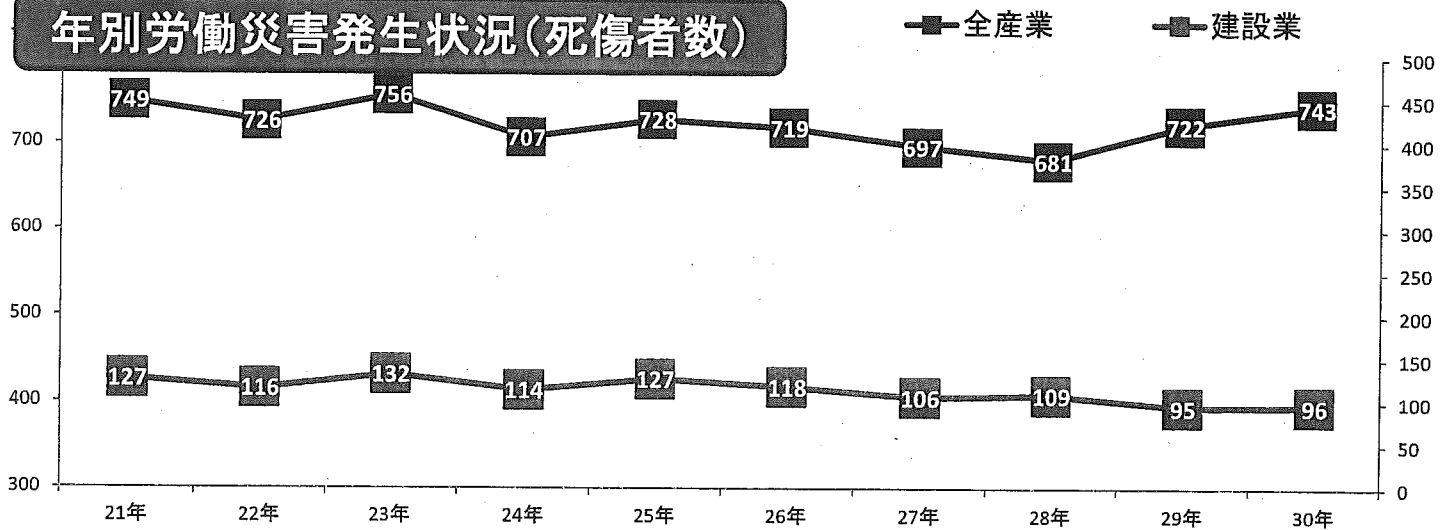
# 建設業の労働災害

平成30年に島根県内の建設業において発生した休業4日以上労働災害による死傷者数は96人（うち死亡3人）で、前年と比較して1人（1.1%）増加しました。特に土木工事業で増加しています。

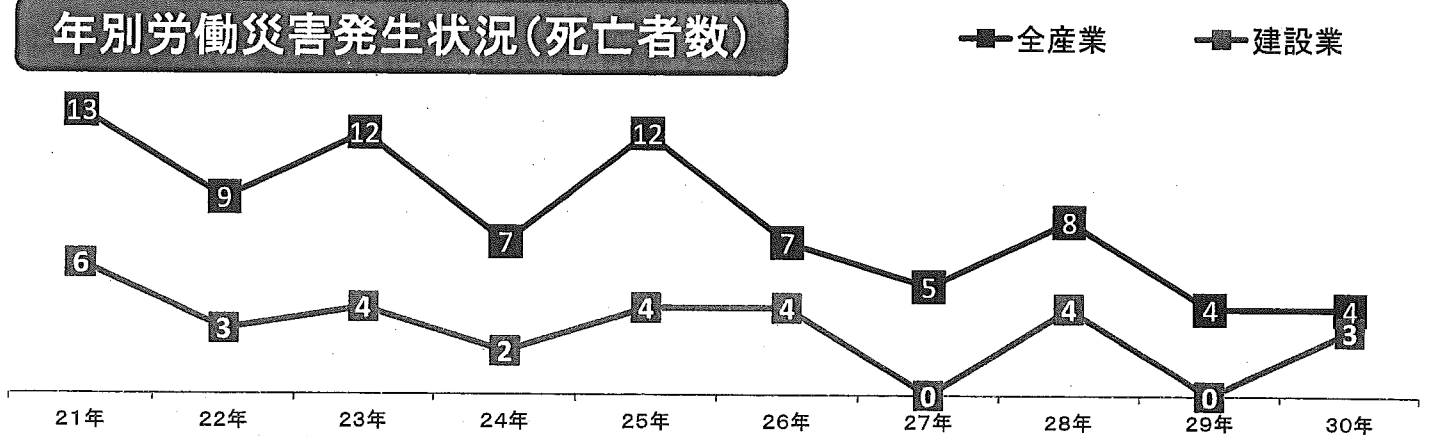
労働災害による死亡者数は3人となり、死亡労働災害が発生しなかった前年より3人増加しました。

厚生労働省 島根労働局

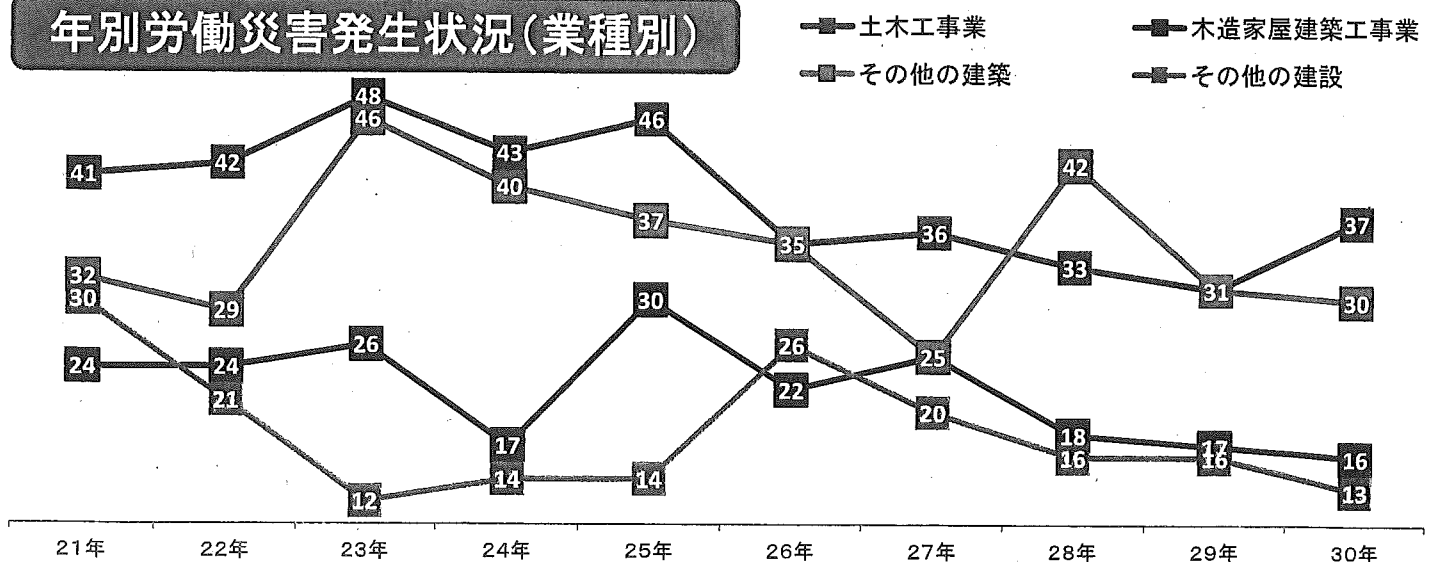
年別労働災害発生状況（死傷者数）



年別労働災害発生状況（死亡者数）



年別労働災害発生状況（業種別）



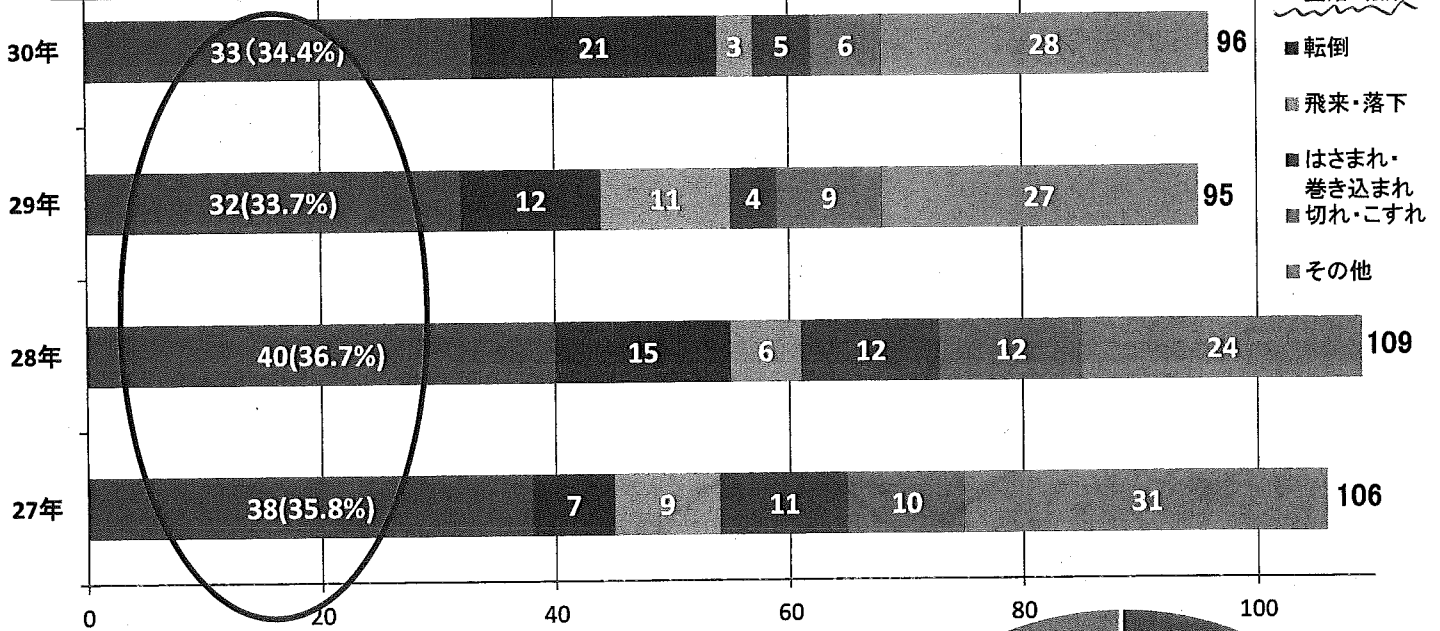
# 建設業と主な業種の労働災害発生状況

業種	全県計				松江署				出雲署				浜田署				益田署														
	29年		30年		増減率 (%)	29年		30年		増減率 (%)	29年		30年		増減率 (%)	29年		30年		増減率 (%)	29年		30年		増減率 (%)						
	死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者	死亡	死傷者		死亡	死傷者				
全産業計(除却山法適用)	4	722	4	743	21	2.3	2	282	2	313	31	0	16	0	20	4	2	248	0	231	▲17	0	122	1	118	▲4	0	70	1	81	11
建設業	土木	0	31	1	37	6	19.4	0	6	1	17	11	2	5	3	0	13	13	0	6	6	0	6	6	0	6	1	▲5			
	木造建築	0	17	0	16	▲1	▲5.9	0	3	4	1	2	2	0	12	7	▲5	1	3	2	1	3	2	1	2	1					
	その他の建築	0	31	2	30	▲1	▲3.2	0	13	8	▲5	1	1	0	10	8	▲2	5	1	9	4	3	1	5	2						
	その他	0	16	0	13	▲3	▲18.8	0	12	5	▲7	3	▲3	0	1	5	4	3	2	▲1	0	1	1	1							
	小計	0	95	3	96	1	1.1	0	34	1	34	0	0	8	0	8	0	36	0	33	▲3	0	15	1	20	5	0	10	1	9	▲1
製造業	1	161	1	183	22	13.7	0	42	1	69	27	0	1	0	1	0	1	55	0	60	5	0	38	0	35	▲3	0	26	0	19	▲7
林業	1	39	0	23	▲16	▲41.0	1	10	0	6	▲4	0	2	0	1	▲1	0	12	0	11	▲1	0	10	0	2	▲8	0	7	0	4	▲3

注: 休業4日以上、隠岐は松江署の内数。

## 事故の型別発生状況

墜落・転落が毎年最多(過去4年で143人被災)

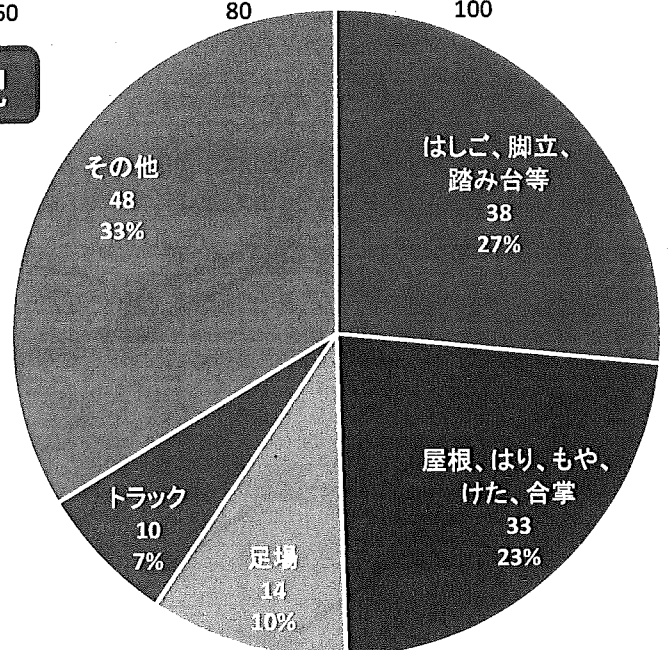


- Top!
- 墜落・転落
  - 転倒
  - 飛来・落下
  - はさまれ・巻き込まれ
  - 切れ・こすれ
  - その他

## 墜落・転落災害の起因物別発生状況

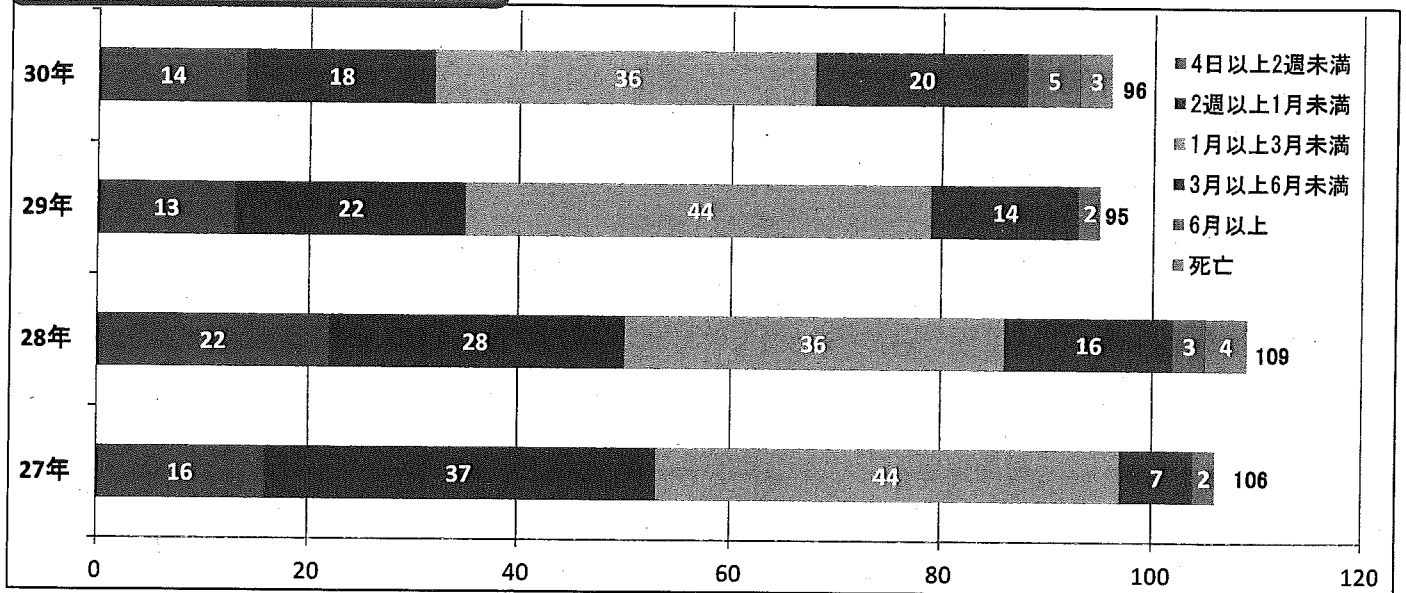
過去4年の「墜落・転落」災害143件の起因物は「はしご、脚立、踏み台等」、「屋根、はり、もや、けた、合掌」、「足場」の上位3つで85件と半数以上をしめています。

- 「はしご、脚立、踏み台等」については、本来、固定するなど転位しないよう措置し、必要に応じて安全ブロック等を連結して使用しましょう。
- 「屋根、はり、もや、けた、合掌」、「足場」では墜落制止用具の未着用や、着用していてもそれが使用できない状態での作業により墜落・転落災害に至る事例が多く発生しています。親綱等の墜落制止用具取付設備を設置し墜落制止用具を使用しましょう。



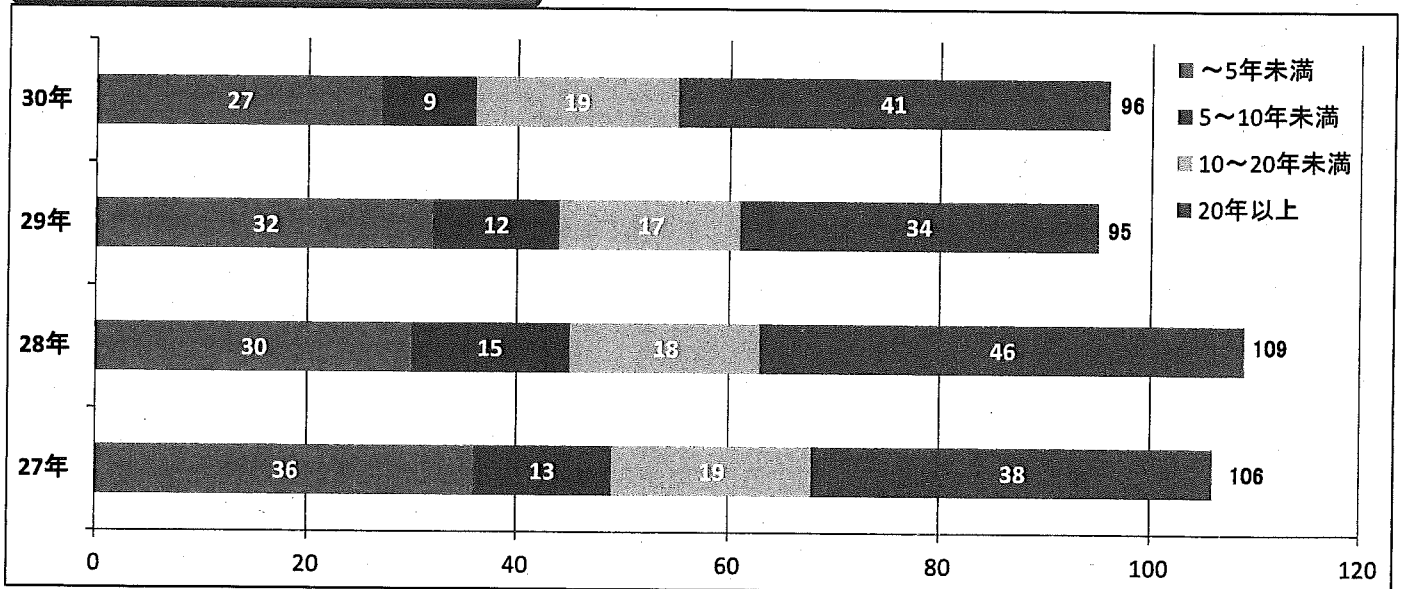
## 災害程度別発生状況

1月以上の災害程度が増加傾向



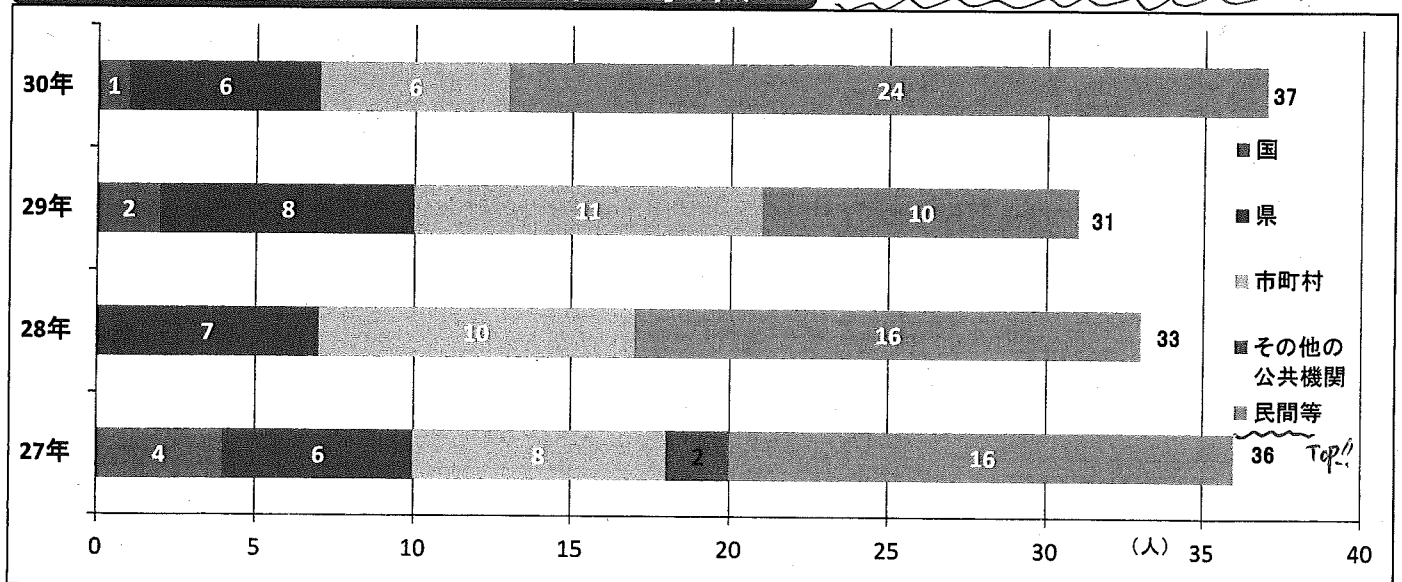
## 経験年数別発生状況

経験年数5年未満と20年以上での発生割合が多い



## 発注機関別発生状況(土木工事業)

公共工事以外の現場で増加傾向



# 建設業の死亡災害一覧(平成25年～平成30年) < 島根県 >

労働災害による死亡者は平成29年より3人増加し、3人となりました。  
高所作業でのフルハーネス型墜落制止用器具の適正使用等の墜落防止対策、車両系建設機械の転落防止対策の徹底をお願いします。

No	発生年月	元請 下請	発生状況
1	平成25年 1月	元請	チェーンソーを使用して立木の伐倒作業に従事していたが、木の切株付近に倒れているところを、一緒に現場へ入場していた同僚労働者に発見された。
2	平成25年 6月	元請	会社資材置き場において、ロープで結束した塩ビ製パイプをドラグショベルで吊上げて運搬作業を行っていたところ、ドラグショベルの履帯が溝に落ちて横転し、運搬の補助作業を行っていた被災者がその下敷きになった。
3	平成25年 7月	元請	被災者がハンドガイド式ローラーを運転して移動中、後進してきたダンプトラックに背後から激突され、転倒した際にダンプトラックの左後輪に轢かれた。
4	平成25年 7月	下請	集じん装置の外壁修理作業において、被災者が足場を溶接棒の入ったペール缶と溶接機の電源コードを持って移動中、躯体と足場板の間の26cmの隙間から約24m下の地面に墜落した。
5	平成26年 1月	元請	被災者らは、山中で試験作業を行っていたが、装備が不足していたため、作業を中断して下山することにした。先に下山した作業員らは、被災者が下山して来ないため捜索したところ、山道から法面下方約10mの立木に、意識不明の被災者が引っかかっているところを発見した。
6	平成26年 5月	元請	木造家屋改修工事において、瓦を葺く作業のため1階屋根上を走行中、3.61m下の地面に墜落した。
7	平成26年 5月	下請	変電所の設備の点検を行うため、点検範囲の停電措置を取ったが、被災者は活線区域の両端に「危険」表示を設置の上、母線の取付け部分のがいしをウエスで拭こうとしたところ感電した。
8	平成26年 6月	下請	新築建物躯体の3階において、足場から木製型枠の解体作業を行っていたが、同僚が様子を見に行ったところ、足場から2.5m下の床面に意識不明の状態で見つかる被災者を発見した。
9	平成28年 2月	元請	高さ20mの送電線鉄塔(特別高圧)の部品交換を行う調査のため、地上18mの地点で停電回線にアースの取付作業を行っていたところ、感電した。
10	平成28年 3月	元請	木造建築現場の2階底部分の母屋上において、垂木の固定作業を行っていたところ、6m下の土間コンクリートに墜落した。
11	平成28年 10月	元請	建設工事現場内において、伐木の枝切り作業中、後退してきた車両系木材伐出機械に轢かれた。
12	平成28年 10月	元請	法面維持工事現場内において、法枠の雑木除去作業中、高さ約8m下の地面へ墜落した。
13	平成30年 4月	元請	屋根補修工事の作業中、屋根から道路上に墜落した。
14	平成30年 7月	元請	砂防工事現場にてホッパーを吊っていたドラグ・ショベルが横転し、当該ドラグ・ショベルのバケットとえん堤に挟まれた。
15	平成30年 9月	元請	トラックを運転して事務所から作業現場へ向かうべく道路を走行中、対向車線にはみ出し、大型トラックと正面衝突し、全身を強く打った。

厚生労働省 島根労働局トップページのQRコード

厚生労働省 島根労働局ホームページ上にある 「安全・衛生」 のバナーから事業場における安全衛生活動に必要な情報が取得できるようになっています。

